

「食の6次産業化プロデューサー」キャリア段位制度

～ 国家戦略・プロフェッショナル検定 ～

レベル1、レベル2が取得できます。

(レベル1…高校学習レベル、レベル2…大学学習レベル)

国は実践的なスキルアップ分野として農業・食料分野、福祉分野、環境分野に力を入れてきました。その中の1つとして農業・食料分野にこの「食の6次産業化プロデューサー」の段位認定が導入されました。食の6次産業化を担う人材の認定・育成を目的としています。生産(1次産業)、加工(2次産業)、流通・販売・サービス(3次産業)の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出するための職能レベルを認定するもので、育成プログラムがレベル2まで認定されている高校は全国で四日市農芸高校を含めて2校しかありません。

試験内容

レベル1 コースの学習を受け申請すれば取得できます。

レベル2 コースの学習を受け、レポートを提出し、審査に通れば取得できます。

資格の1つとして！
自己PRポイントとして！
学習の成果として！

レベルごとの人材イメージ			
レベル	特徴	食の6次産業化プロデューサーの人材イメージ	
レベル6	トップ・プロフェッショナル	●組織内外で後進を育成 ●他の農林漁業者に対して「食の6次産業化」の手法・戦略を指導	
レベル5	●高度な専門性・オリジナリティ	●商品のブランド化 ●他の法人のビジネスパートナーとして活躍 ●プロジェクトを多角化し、複数の商品や分野(観光・輸出等)に進出し、継続的な実績	
レベル4	●一人前の仕事ができる段階 ●チーム内でリーダーシップ	食の6次産業化に関する経験や実績があり、事業化、マネジメント、コンサルティングなどの成果を出している	
レベル3	指示等がなくとも、一人前の仕事ができる段階	「できる」※	「わかる」※
レベル2	一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる段階	「できる」※	「わかる」※
レベル1	職業準備教育を受けた段階	「できる」※	「わかる」※

※レベル2、レベル3の「わかる」、レベル3の「できる」では、「事業主・法人スタッフコース」と「支援スタッフコース」を選択できます。支援スタッフコースは、コンサルタントや行政機関の方などを想定しています。